

最終回

スキルアップが出来る職場環境に人気があるそうです。私も経営者として、社員が成長できる機会を持ち、バックアップする事は大切だと感じています。転職する時には、「ここだったら成長できるかな?」「この環境ならば成長できるか?」

歩歩是道場

「介護」は最適な学び場 自分のために修業を積もう

「!」という気持ちで職場の選択をすると思えます。確かに、良質な人材に囲まれていれば成長も出来ます。しかし、レベルが高い人材に囲まれ過ぎると個性が活かせず、自己の自信を失い、潰れてしまう事もあります。そういった方に多いのが「環境が合わなかった」という意見です。(そういった場合もあるとは思いますが)

アカルイ 介護ビジネス 若手経営者の新手法



はっぴーライフ代表取締役社長 辻川泰史 1978年1月生まれ、東京都出身。日本福祉教育専門学校卒業。老人ホーム、在宅会社の勤務を経て2002年(株)はっぴーライフ設立。2008年(株)エイチエール設立。同年、デイサービス検索サイト「デイケンサク」(www.daykensaku.com)を開発。ブログのURLはhttp://ameblo.jp/eichi-eru

が、そう言ってしまうとそこで学びが遮断されます(

よく禅での話して聞く事に次のようなものがあります。

ある修行僧が、修行に集中し易い場所を探していました。(ある修行僧「現代風に言えば転職の多い人みたいですね(笑)」。その時、維摩居士(ゆいまこじ) という僧に会いました。

僧「あなたはどこから来たのですか?」

維摩居士「道場から来たのです。」

僧「この道場ですか?」

維摩居士「直心是道場」

直心是道場とは、素直に受け取れる心があれば、どこでも学びの場になるとの事です。

修行、勉強の場は心の中にあり、場所は関係ない。一歩一歩が修行、勉強だという意味だと思います。

確かに、通勤時間の電車内で難関の資格試験の勉強をして合格し

た人。現代風の事例では、携帯電話のメール機能を利用して、小説を書いて新人賞を受賞した人などがいます。

私達の介護の仕事はどうでしょうか?まさしく、学ぶ場に適していませんか?

人生の先輩から学べます。どんな仕事でも良く人生勉強といいますが、たまには、自己の業務から何が学べるかを真剣に考える事が大事だと思います。

例えば職場で人間関係が上手くいっていない、嫌な人がいる。そこで学べる事は何でしょうか?

売上が伸びない?そこで学べる事は何でしょうか?

実際、当事者になると、「そんな余裕は無い」と、

「!」という心境になってしまいます。

理想はそこで、冷静に「この経験は得れるものは何か?」と考えられる心の余裕ですが、未熟者の私は、そこまでの境地に達して

いないので、少し時間を置いてから、あの経験で学んだ事は何かかな?と考える事にしていきます。

仕事を作業にせず、志、気持ちを持って行う事が社会人の修行だと思います。そういう修行だから仕事は楽しいのだと感じます。家族のため、生活のため、もちろん、それも重要です。しかし、一番は自分のためになる事です。素直に受け取れる心があればどこでも学びの場になります。